

平和の大切さを伝えるために

広島へ平和使節団を派遣

市は、昭和63年3月に非核平和都市を宣言して、平和の尊さ、核戦争の悲惨さを後世に伝えることを目的としてさまざまな事業を行っています。昨年は、市内公立中学校からの代表8人を含む、総勢13人の使節団を派遣しました。今年も、同人数の使節団を派遣します。

【派遣スケジュール】

7月22日(木) 結団式および事前学習会
8月5日(水)～7日(金)

- ・ 平和記念式典への参加
- ・ 平和記念資料館などの見学
- ・ 太田川の灯籠流しに参加

【派遣スケジュール】

使節団に参加した中学生は、「この3日間は一生涯に記憶に残ることでしょう。その一生の間に、僕はできる限りの人に、この体験で得たことを伝えていこうと思います」と話してくれました。

被爆63年の平和記念式典では、慰霊碑に花束を供える人々の姿や、代表者の誓いの言葉が生徒の心に残ったようで、平和への思いをより強いものにしていました。

原爆パネル展の開催

被災写真および絵画を展示します。

と き／8月4日(火)～16日(日)

※月曜日は休館

ところ／一中地区公民館、新治総合福祉センター

昨年(開催期間中)の来館者数

- 二中地区公民館(1246人)
- 三中地区公民館(1431人)

千羽鶴の作成

今年も市民の皆さんが折った千羽鶴を平和使節団が代表して「原爆の子の像」へ捧げます。

また、市民課窓口前に、千羽鶴用の折り紙を用意していますので、待ち時間などを利用して、ご協力をお願いします。

問 総務課 ☎826・1111 内線2200

原爆死没者慰霊と平和祈念の黙とう(1分間)に、ご協力をお願いします。

- ・ 広島 8月6日(木) 午前8時15分
- ・ 長崎 8月9日(日) 午前11時2分

昨年の平和使節団



昨年の原爆パネル展



原爆ドーム

(平成8年・世界文化遺産に指定)

昭和20(1945)年8月6日の午前8時15分に原爆の被害により崩れた元「広島県産業奨励館」は、誰が言うともなく「原爆ドーム」と呼ばれるようになりました。原爆によって半径2kmにおよぶ市街地が廃墟と化し、この悲惨な事実を後世に伝え人類の戒めとするため、建物の残部に補強工事を施し、これを永久に保存することとしました。その工費は国の内外にわたり、平和を願う多数の方々から寄せられたものです。